

重層的支援体制整備事業における相談支援事業所の機能

―要支援者の発見から伴走型支援の実践へ―

○ 山口県立大学 氏名 内田 充範 (006870)

[キーワード] 参加支援、アウトリーチ、多機関協働

1. 研究目的

2017年の社会福祉法の一部改正により、2018年4月から自治体住民に対する包括的な支援体制の整備が市町村の努力義務とされ、厚生労働省は、地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制構築事業を推進している。さらに、2021年度からは、包括的な支援体制構築事業が、重層的支援体制整備事業（以下、重層支援事業）として社会福祉法に規定され、先進的な自治体において本格的な取り組みが展開されている。

本研究は、X地域包括支援センターに設置されている重層支援事業における相談支援事業所の機能を明らかにすることで、要支援者の発見（アウトリーチ）から伴走型支援へとつなぐ相談支援のアプローチを提示することを目的とする。

2. 研究の視点および方法

本研究は、ソーシャルワークが、実践の積み重ねから理論（モデル・アプローチ）を提示しているという視点から、重層支援事業における支援アプローチを導くものである。

研究方法は、実践事例を社会福祉法第106条の4第2項に示されている機能に基づいて検証することで、実践における要支援者の発見（アウトリーチ）から多機関協働による活動の機会の提供、参加支援、伴走型継続的支援のアプローチを提示した。さらに、地域住民・団体との地域づくりの実態についても明らかにした。

3. 倫理的配慮

本研究は、「一般社団法人日本社会福祉学会研究倫理規程」（2018年5月27日施行）ならびに「日本社会福祉学会研究倫理規程にもとづく研究ガイドライン」に基づき、倫理的配慮のもと実施した。X地域包括支援センター及び事業委託元自治体に対して、研究目的、個人情報保護、データの取り扱い、発表の許可などについて口頭で説明し、同意を得た。なお、事例は個人が特定化されないよう匿名性を確保する観点から、内容の忠実性が確保される限度で省略、改変している。また、本発表に関連して、開示すべきCOIはない。

4. 研究結果

相談支援事業所が定期的に行っている相談会のチラシを見た母親から架電があり、来所

相談となる。クライアントは、20代後半の男性、父母との3人世帯で20代半ばの弟が県外に一人いる。小中学校時代は、不登校気味で、通信制高校卒業後、若者サポートセンターで、パソコン研修受講、農業体験等をするも、その後、ひきこもり状態となる。

重層支援事業に求められている機能と支援実践との関係は、表1のとおりである。

表1 「社会福祉法第106条の4第2項」の機能にそった支援実践

	機能	支援実践
第1号	相談支援	チラシを見た母親の相談から支援を開始。
第2号	参加支援	本人の意向（就労希望）にそった専門機関・専門職との協働による参加支援に加え、関係形成の度合いに応じて、図書館等の利用を提案。
第3号	地域づくりに向けた支援	本事例では該当なし。
第4号	アウトリーチ等を通じた継続的支援	世帯を訪問し、面接を経て、クライアントの希望にそった継続的支援を展開。
第5号	多機関協働	相談内容に対応可能な関係機関と情報共有、同行訪問を実施。
第6号	支援プランの作成	インタビュー面接後、支援開始までに作成。

出所) 筆者作成。

5. 考察

まず、要支援者の発見については、母親からの相談によるものであるが、相談支援事業所が定期的に行っている相談会のチラシを見てのものであり、要支援者発見のためのアウトリーチの成果と考える。次に、支援にあたっては、クライアントの意向を確認し、多機関協働のもと、活用可能な社会資源を紹介しながら支援プランを作成している。さらに、支援の実施においては、クライアントの支援場面に同行し、多機関協働といえども関係機関に任せきりにすることなく、クライアントの社会参加の状況及び参加後の思いを確認するという伴走型継続的支援を展開しているといえる。なお、「地域づくりに向けた支援」については、本事例では活用していないが、毎月、「地域支え合い会議」を開催し、地域の困りごとの把握・情報共有から、地域住民同士の助け合いの仕組みを作っている。

相談から、およそ1年が経過し、担当ソーシャルワーカーや生活困窮者サポートセンターの支援員とはコミュニケーションをとれるようになった。また、移動手段として、原付免許取得の希望があり、現在、免許取得後の就労を目指すなどの変化がうかがえている。

このように、長年ひきこもり状態にあったクライアントに変化をもたらすことができたのは、相談支援事業所のソーシャルワーカーが、多機関協働のもと、参加支援を交えたアウトリーチによる伴走型継続的支援を実践していることによるものと考えられる。